

肝炎ウイルスの初回精密検査費用を助成

平成30年度版 OSAKA 大阪府 のみなさんへ

ウイルス性肝炎 患者さんに役立つ制度

ウイルス性肝炎は専門医による治療・検査を続けることが大切です。
その費用を補助する制度をご紹介します。

制度が改善されました！



肝炎ウイルス陽性者の
初回精密検査費用を助成します。

平成30年4月1日より、大阪府肝炎専門医療
機関において肝炎ウイルスの初回精密検査を受
けた際の自己負担分を助成します(2ページ参照)。

概要

大阪府は、肝炎ウイルス検査の結果が陽性の方を対象に、肝炎ウイルスの初回精密検査(医療保険適用のものに限る)を受けた際の検査費用の自己負担分を助成しています。また、肝炎専門医療機関を対象に、肝炎医療コーディネーターの配置に向けた養成研修を10月に実施しました。

取り組み

2017年9月定例会において、公明党府議団 大橋章夫議員(枚方市選出)は、ウイルス性肝炎の検査費用の助成について質問。府は、「制度化について、検討していく。」と回答していました。

また、2018年2月定例会において、公明党府議団 内海久子議員(大東市・四條畷市選出)は、肝炎の重症化予防推進の一翼を担う肝炎医療コーディネーター事業について質問。府は、「肝疾患の専門的な治療を行う医療機関において、相談を担っている専門職200人を対象に取り組みを進める」と回答していました。

公明党は、府民の命と健康を守るため、国会議員、府議、市議が連携し、肝炎対策の拡充を進めていきます。